

5. 暴露量調査対象物質の分析法概要

物質名	分析法フローチャート	備考
<p>[5]2-(2H-1,2,3-ベンゾトリアゾール-2-イル)-4,6-ジ-tert-ブチルフェノール</p> <p>[6]2,4-ジ-tert-ブチル-6-(5-クロロ-2H-1,2,3-ベンゾトリアゾール-2-イル)フェノール</p>	<p>【水質】</p> <pre> graph TD A[水質試料 200mL] --> B[pH調整 0.6N塩酸でpH2 塩化ナトリウム 6g添加] B --> C[溶媒抽出 ジクロロメタン 30mL/10分間×2回] C --> D[脱水 無水硫酸ナトリウム] D --> E[濃縮 ロータリーエバポレータ 2mL] E --> F[転溶・濃縮 メタノールに転溶 窒素ガス気流下 0.2mL] F --> G[LC/MS/MS-SRM- APCI-ポジティブ] H[シリコンスタンダード添加 フタル酸ジエチル-d4 2ng] --> G </pre> <p>「外因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアル」、 「昭和57年度化学物質分析法開発調査報告書」及び 「平成元年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p>分析原理：LC/MS/MS SRM-APCI- ポジティブ</p> <p>検出下限値： 【水質】(ng/L) [5] 0.080 [6] 0.093</p> <p>分析条件： 機器 LC：Agilent 1100 MS：Applied Biosystems API3000</p> <p>カラム Inertsil Ph-3 150mm×2.1mm, 5μm, 40</p>